

2020年6月30日

各 位

株式会社 関西みらい銀行
滋賀県

「びわこ・みらい活性化ファンド (FUNAZUSHI ファンド)」第5号案件の投資実行について
～関西みらい銀行と滋賀県との包括的連携協定に基づく連携事業～

関西みらいフィナンシャルグループの関西みらい銀行（社長 菅 哲哉）は、滋賀県（知事 三日月 大造）との包括的連携協定に基づく連携事業の一環で、2018年6月に設立した「びわこ・みらい活性化投資事業有限責任組合（FUNAZUSHI ファンド）」の第5号案件として、株式会社人機一体（滋賀県草津市）への投資を実行しましたので、お知らせいたします。

立命館大学発スタートアップ企業である株式会社人機一体は、ロボットをフィジカルな道具として人が直感的・直観的に操る技術をパッケージ化し、物理的な力を人が自在に操り、フィジカルな苦役を強いられることのない世界をビジネスとして構築すべく、技術開発・事業開発を進めています。「滋賀発」となる同社の技術が社会に実装されることで、危険な作業現場における安全性の向上や、作業効率の向上、さらには人の労働価値向上が期待されます。

今後も関西みらい銀行と滋賀県は、連携して地域社会の発展と産業の活性化に積極的に取り組んでまいります。

【投資先の概要】

投資先名	株式会社人機一体
所在地	滋賀県草津市青地町648番地1
事業内容	ロボット、産業機械の研究開発
設立日	2007年10月1日
資本金	162,000千円
代表者	金岡 克弥

【FUNAZUSHI ファンド概要】

ファンド名称	びわこ・みらい活性化投資事業有限責任組合（FUNAZUSHI ファンド）
設立日	2018年6月29日
ファンド総額	100百万円（当初）
運用期間	10年（最長2年の延長可能）
組合員構成	有限責任組合員：株式会社関西みらい銀行 無限責任組合員：フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
投資対象	滋賀県内において地域経済活性化に貢献する以下の事業 地域のブランド確立に貢献する新規事業、地域のインバウンド集客増加につながる観光事業、地域の「食」ブランドの向上を目指す事業、地域でのSDGsに基づく社会課題解決に寄与する事業、その他地域経済活性化に貢献する事業

以上